

2004年2月20日(金)

【日刊】水産と食品ニュースみなと新聞 掲載



1000人規模の来場者で活発な商談が展開された

八戸で初の展示商談会

1000人規模の来場者で賑わう

27メーカー社 多彩な独自商品提案

【八戸】八戸で初となる「展示商談会」が18日、同市で開かれた。健康志向、

安全・安心、水揚高」をテーマに市内有力メーカー27社が出展し、水産品

を紹介。各地の量販店や卸、外食、産業給食の仕入れ担当者ら950人が訪れ、活発な商談を展開した。

展示商談会では、丸竹八戸水産が化学調味料を使わない「しめサバ」を提案、惣宝水産は締めサバ・サンマの「あぶり焼き」シリーズ、せんぎょれん八戸食品は国産素材の各種製品をPR。島倉水産、丸都冷蔵、丸万水

産などはこだわりのイカ製品を紹介した。

八戸缶詰のおからとコンニャクを素材にした「肉感覚」の低カロリー具材、武輪水産の「めかぶいか」「さほの蒲焼」、かねと水産の岩手・種市産ウニ、辻野八戸食品工場の鰹魚、合食の珍味、八戸フーズの寿司種などが注目を集めた。マルヨ水産は締めサバや塩辛、

ちくわ、味の加久の屋は「かに菊花漬」をアピール。ヤマヨはサバの押し寿司などをメニュー提案し、岡部商店の味付け切り身が好評だった。

来場者は「産地に足を運ぶ機会が少ないだけにとても参考になった」「素材や機能性重視の商品が多く良い商談ができた」と話していた。